

# カンボジア ボランティア留学

## 1. 活動時期

2025年7月27日～8月9日

## 2. 利用したエージェント名

Project Abroad

高校2年

宮崎 彩叶

## 3. 活動の概要

私は、カンボジアにいき、最初の3日間地元の病院にいき、カンボジアの医療の現在について学びました。その後、2泊3日で観光をして、次に、グループごとに別れて、自然や感染予防など、それぞれポスターを作り、それを持って、地元の小学校に行つて、子供たちの健康診断をしたり、みんなで遊びをしたりしました。

## 4. 感想

まず、本当に素敵な経験でした。カンボジアの病院は立ってるだけでもすごく暑くても、エアコンがないから暑さにずっと耐えなくてはいけなかったり、廊下にベットを設置して、そこで過ごす病人もいました。日本との違いに本当に衝撃を受けました。また、2泊3日での観光では、アンコールワットなど様々な遺跡を訪れました。自然豊かで本当に心が浄化されました。地元の小学校に行った際には、子供達は私達を暖かく迎え入れてくれて、すごく仲良くしてくれました。彼らの目は本当に澄んでいて、こちらも自然と笑顔になれました。

この留学に行く前は、発展途上国の子は自分の暮らしをつらいと思っているはずだと思い込んでいました。でも違いました。彼らは本当に幸せそうで、本当にいい子達でした。彼らの環境は日本と比べればすごく不便なはずなのに、私はむしろずっとここにいたい。そう思うほど、彼らの環境は泣きそうになる程、居心地がよかったです。

私は発展途上国の人達は苦しんでいる、そうずっと勘違いしてました。彼らは今の環境があるからこそ、あんなに優しくて、目が澄んでいたんです。私は、発展途上国を無理矢理近代化させるのは間違いで、彼らのあの温かい環境を壊さず、そのまま保って、世界で共存させるべきだと強く思いました。本当にカンボジアは自然も街並みも美しかったです。彼らの環境を守りつつも、病院などの設備は発展させることは本当に早急に行うべきだとも思いました。日本の医療よりも明らかな遅れを感じました。これでは助けられる命も助けられません。医療の発展を早急に手助けできて、地元の温かい環境も守る、そんな人になりたいと思うほどに成長できた、素敵な経験でした。

## 5. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

発展途上国を発展させたいまたは、発展途上国の子達を助けたいと考えている人は、自分の考えを根本から変えることができるほど、刺激されるので、本当におすすめです。

